

日本ダイバーショナルセラピー協会 Special Lecture
「レクリエーション&レジャーの役割とは」

講師 永田真一氏
(筑波大学体育専門学群 助教)

もっと知ろう！レクリエーションの価値

2002年にオーストラリア・ダイバーショナルセラピー協会の協力を得て始まった日本のダイバーショナルセラピー(Diversional Therapy/DT)活動ですが、2017年頃からオーストラリア、ニュージーランド、日本、アメリカ、カナダ、イギリス、南アフリカなどが国際連携(DT & RT International Coalition)を組んで交流が広がっています。RTとはRecreational Therapy(レクリエーションセラピー/またはTherapeutic Recreation)。日本では高齢者ケアを受ける人の環境やライフスタイルを含めた“自分らしく楽しく”への転換(ダイバージョン)という意味で“ダイバーショナルセラピー”という名称と使っていますが、オーストラリアやニュージーランド、欧米ではセラピーとしてのレジャーやレクリエーション(余暇)の価値と専門性が大変、重要視されるようになり、RTという名称で専門職業化してきました。

今回の総会では、そのようなアメリカで「Therapeutic Recreation」を学び、大学で教鞭もとってこられた永田真一氏に、余暇活動やレジャー・レクリエーション、スポーツが精神障がいや他の様々な困難を抱える人にどのような役割をもって QOL(生活の質)や MOL

(生きる意味)に貢献できるかなど、DTにとっても興味深いお話をさせていただきます(zoomによるオンライン)。

※講演終了後、永田先生にも加わっていただき、フリーディスカッションを行います。

講演会申込用 URL

- 日時 2024年6月16日(日) 13:45~14:30
～日本ダイバーショナルセラピー協会の総会(13:00~13:45)終了後～
- 参加費 無料(総会終了予定の13:30より入室いただけます。
講演会～フリーディスカッションに参加できます)



※パソコンでお申込みの場合はこちらから <https://form.os7.biz/f/cc470321/>

【永田真一氏プロフィール】

筑波大学を卒業し東京都障害者スポーツ協会勤務後、ノースウエストミズーリ州立大学大学院を経て、2014年からインディアナ大学ブルーミントン校にて准講師・博士号取得。2017年にはノースウエストミズーリ州立大学にて助教授。テンプル大学にて博士研究員。2021年から筑波大学にて現職。筑波大学では永田氏の専門分野でもあるスポーツとメンタルヘルスを中心テーマとし、セラピューティックレクリエーションを通して、障がいやさまざまな困難を抱える人のQOLにおけるスポーツやレジャー・レクリエーションの役割を研究。近年は精神障がいのある人の地域参加にも注目し、活躍中。

